

生きる意味の研究

雨宮 徹 (あめみや とおる)
情報科学部 情報システム学科 教授

用途・応用分野：哲学、倫理学

■ 研究概要

ニヒリズム(この世界は生きるに値しないという世界観)の克服をテーマに、主にフランクフル(V.E.Frankl,1905-1997)の意味の思想の研究を行っている。

ユダヤ人であるフランクフルは、強制収容所の体験記『夜と霧』によって世界的に有名であるが、精神科医としてニヒリズムの克服を一生のテーマとし続けた人物である。

全体像が見えづらく断片的な印象を与えるフランクフルの思想を、哲学の立場から体系化し、理解を深め、そこからニヒリズムを克服しうる理論を明確にすることを目的としている。

■ 研究の特徴

フランクフル研究には医療・心理学的アプローチ、哲学的アプローチ、宗教学的アプローチがあるが、哲学的アプローチにより理論研究を行っている。

- ①認識論的概念 'bei-sein' の解釈
- ②「人生の意味についての問いに関するコペルニクスの転回」の解釈
- ③「幸福追求のパラドックスの図」の解釈

